

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個21事07

政策名	5 安全な港			24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)	責任者	総務部 危機管理室担当課長
基本施策名	07 危機管理機能の強化					
個別施策名	21 防災対策を強化する			事務事業	成果	コスト
事務事業名	07 防災教育・訓練の推進			継続	維持	維持
目的	職員の防災に必要な判断力、知識、技能等が養成され、災害時に防災活動を的確に遂行します。				事業期間	昭和38年度～継続
概要	防災に関する講習会、研修会等を開催するとともに、防潮扉、防潮水門の閉鎖、土のう積みなどの内部訓練及び外部と連携した訓練を行います。				根拠法令等	名古屋港管理組合防災計画
					実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
平成25年度の実施予定	防潮扉閉鎖訓練、救命講習会、災害図上訓練、消防訓練、防災訓練及び外部と連携した訓練を実施予定です。				関連シート	

2 DO(実施)

平成25年度に実施した内容・結果	防潮扉閉鎖訓練(H25.5~6)、救命講習会(H25.7、H25.12、H26.3)、災害図上訓練(H25.5、H25.11、H26.2)、消防訓練(H25.6、H26.3)、防災訓練(H25.9)、外部訓練(H25.6[名古屋市石油コンビナート]、H25.8[愛知県]、H25.9[中部圏及び港区]、H25.10[愛知県石油コンビナート])							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績見込み)	合計	備考(款項目節等)
事業費計	千円	272	457	474	570	120	1,893	(款項目節) 歳出:総務費/総務管理費/一般管理費/需用費 (算出計算式)
一般会計	千円	272	457	474	570	120	1,893	
事業会計	千円							
その他	千円							(その他)
人員費計	千円	8,582	8,481	8,620	8,716	10,512	44,911	基本実施回数13回に要する訓練企画、計画、準備等、その打合せから実施日まで、危機職員の半数程度の人数が約6日間要する(全員参加体制)
正規職員	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.20		
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
合計	千円	8,854	8,938	9,094	9,286	10,632	46,804	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	中間目標	25	備考(指標の算定方法など)
防災教育・防災訓練実施回数(回)	目標	7	7	9	9	13		13	1年間を通しての訓練・講習会の基本実施回数
	実績	8	9	9	9	14			
	達成率(単年度%)	114.3	128.6	100.0	100.0	107.7			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
訓練・講習会の参加率(%)	目標	100	100	100	100	100		100	訓練・講習会の参加人数(参加人数÷予定人数)
	実績	96.6	99.4	99.9	99.9	99.9			
	達成率(単年度%)	96.6	99.4	99.9	99.9	99.9			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
平成25年度までを総括した必要性・有効性・効率性の確認		判断理由(課題の抽出)						その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続	➡	➡	地震、津波、火災に対応した教育・訓練を継続する必要があるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
今後においても、関係機関との連携強化、職員の防災知識の向上や防災意識の高揚を図るために訓練、講習会を行っていきます。				